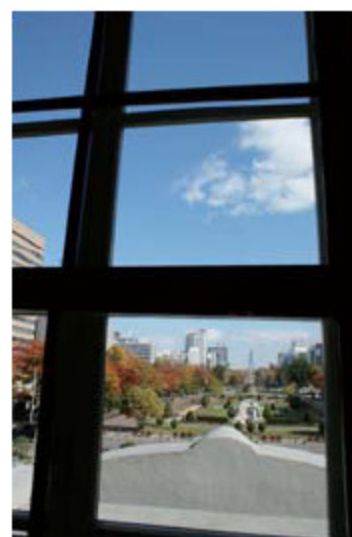




ココを味わう

細部にも宿る  
重厚な歴史

車寄せの上にある正義の女神のレリーフ、札幌軟石の独特の風合い。歴史を作ってきた建物は、北海道でいちばん最初に登録有形文化財に登録された。



対面にテレビ塔を臨む2階からの眺めも美しい。開館日は建物の前を駐車禁止にするなど景観への配慮も。

現在は資料館として札幌のまちづくりの歴史などを紹介するほか、刑事法廷展示室では、団体向けに模擬裁判なども行う。

札幌市資料館 TEL.011-251-0731



ACCESS

中央区大通西13丁目  
●地下鉄東西線「西11丁目駅」下車、1番出口より徒歩約5分



ココを味わう

大正期の  
建築らしい  
こだわりの内観



大正時代に建てられた洋風建築だけあって、内観にも当時をしのばせるディテールが。美しい曲線を描く螺旋階段やシャンデリア、天井の装飾など。状態も良く、大切に保存されていることがうかがえる。

- 建設主/司法省
- 設計者/司法省会計課 濱野 三郎
- 施工者/谷口 徳三郎 他
- 完成年次/大正15(1926)年

大通公園散策の合間に、深煎りにこだわるコーヒーを

ジャズが流れる落ち着いた空間で、世界各地から厳選したコーヒーが味わえる店。同じ産地であっても天候等の事情でさまざまな状態となる豆を、都度納得のいくまで厳選し、使い切る分だけ小さな直火の釜に入れて焙煎する。全種類深煎りで仕上げ、コーヒーらしい苦みやコクが楽しめる。地

下にある隠れた名店で、大通散策の合間にひと休みしてみても？(1杯500円～)

深煎りの珈琲 basic(ベーシック)  
中央区大通西10丁目 南大通ビル地下1階  
TEL.011-271-9043

と近所  
PICK UP!



「札幌市資料館」より徒歩約5分

歴史的  
建造物

さっぽろの顔を味わう。  
第14回 札幌市都市景観賞受賞作品



大通公園を借景としながら、  
公園自体にも歴史の深みをプラス

中央区 [大通公園・中心部]

札幌市資料館

札幌市資料館は、かつての札幌控訴院(現在の高等裁判所にあたる)で、1926年(大正15年)9月に完成した。外壁は内側にレンガ、外側に札幌軟石を積み上げた構造で、札幌では数少なくなつた重厚な歴史的建造物の一つであり、1997年に国の登録有形文化財にも指定された。資料館になったのは1973年。大通公園の東端・西1丁目には札幌の代表的観光施設でもあるテレビ塔があるが、資料館はその西の外れ、西13丁目独特の存在感を漂わせ、大通公園自体にも歴史の深みを与えている。

手前の西12丁目は全体が欧州風の庭園として整備され、前庭の役割も果たしており、資料館と一体となつた姿は四季折々に美しい。全国8カ所の控訴院のうち、建物が現存しているのは札幌と名古屋だけ。車寄せの上には「札幌控訴院」の文字が刻まれ、法の公正を象徴する正義の女神と秤・剣のレリーフが残っている。

表彰理由

(株)北海道新聞社

編集委員 越山 明裕

